

答えなき時代の未来開拓型リーダー候補が集い、3ヶ月間のアクティブ・ラーニングから【チームビルディング】を体得する
ビジネス・ブレイクスルー大学 オープンカレッジ リーダーシップ・アクションプログラム

組織力強化トレーニングプログラム《BASIC》 ～チームビルディング実践者の養成～

同一企業複数派遣割引あり



めまぐるしく事業環境が変わる現在において、チームビルディングはイノベーションをおこし成果を出す必須スキルとして注目されています。一方、できる人に業務が偏り、チーム/組織として機能していないのが現状です。本講座は、知識だけではなくアクティブ・ラーニングによってチームビルディングを本質的に理解し、実践～検証～真因の深掘りを継続することで、【成果を出すチーム】を率いるリーダー及びメンバーを育成するプログラムです。

本講座の特長

- ✓ 集合研修とオンライン学習を融合、理論と実践、リフレクション（振り返り）を繰り返す
- ✓ 3ヶ月間学習を継続することでスキルを定着させ、職場で成果を出し続ける土台を作る
- ✓ 異業種・異職種の交流を通し、「多様性」の本質を理解する

成果を出せる組織

- ・メンバーの間に信頼関係が構築されており、コミュニケーションが活発にされている
- ・リーダーがメンバー育成に本気で取り組んでいる
- ・組織ビジョン・ミッションがメンバー全員に浸透している
- ・メンバー（含むリーダー）全員が自律し、チームパフォーマンスの最大化に貢献している

実際の声（よくある課題）

- ・メンバーがリーダーの意思決定に依存し、自主的に行動しない
- ・メンバーが自身の成果や評価のみを優先し、チームの目標達成に興味を示さない
- ・会議で発言するのはリーダーまたは特定のメンバーのみで、チームに活気がない

何故いま、組織力強化が必要なのか？

現場で表面化している課題の約80%は組織内の『関係性の質の低下』が真因といわれています。更に突き詰めると、個人/組織それぞれの『あり方』の欠如が組織の悪循環を招いている原因ともいわれます。

企業で表面化している課題

部下の業績貢献にばらつきがある

部門目標を達成するための部下の行動に一貫性がない

事業部のビジョンや目標が実践されない

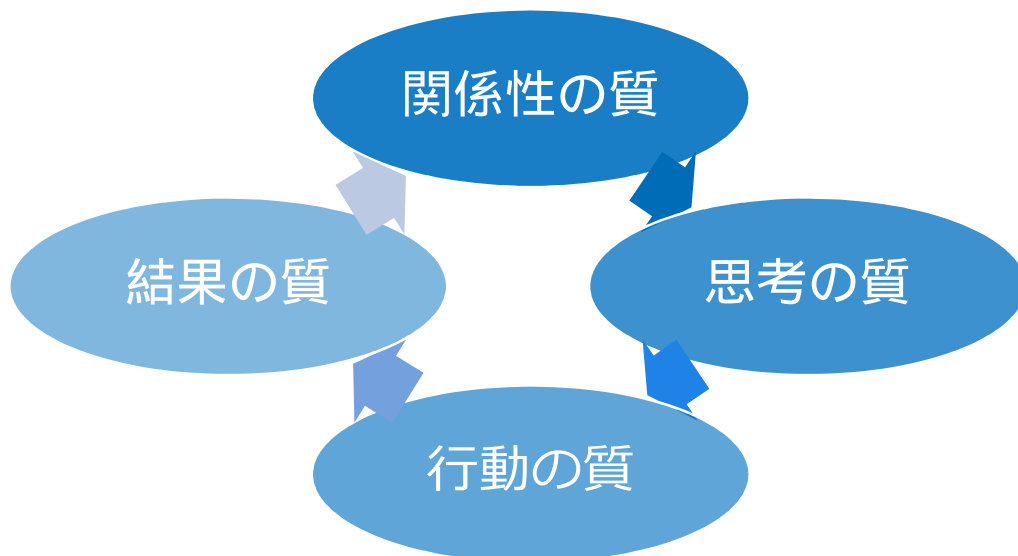
真因は、リーダーが

育成に対するコミットメントがない。部下に対する興味関心が低い

コミュニケーションが少なく、部下の視点での目標設定と理解、納得が得られていない

事業部長を誰も信頼していない。事業部長自身がチームの一員になっていない

【結果の質】を高めるためには組織全体の【関係性の質】を高めることが必要であり、その取り組みは組織開発（強化）と言い換えることができます。



本講座のねらいとカリキュラム全体像

本講座は、知識だけではなくアクティブ・ラーニングによってチームビルディングを本質的に理解し、実践～検証～真因の深掘りを継続することで、【成果を出せるチーム/組織】になるためのリーダー及びメンバーを育成し、受講後も効果を継続させるために設計されたプログラムです。そのためのカリキュラムが以下となります。

- ✓ チームが成長していく為に必要な理論と具体的な手法を学ぶ
(集合研修、オンラインでの映像講義/ディスカッション)
- ✓ 「研修チーム」の中で、自ら考え行動した結果を共有・実体験しながら、PDCAサイクルを回し検証する
- ✓ 実組織や現場で起きている課題を元に、チーム成長を促す行動計画を立てて実行する

		1か月目	2か月目	3か月目
映像講義	講義時間	チームビルディング基礎スキル 約15時間(5時間/月)		
	講師	斎藤秀樹氏	斎藤秀樹氏	斎藤秀樹氏
	テーマ	チームビルディングスキル (基礎編) 5H	チームビルディングスキル (基礎編言語定義) 5H	チームビルディングスキル (応用編) 5H
リアル講義	集合研修 (2日)	集合研修 (1日)	集合研修 (半日)	
Skypeセッション		スカイプセッション (グループ)	スカイプセッション (グループ)	スカイプセッション (グループ)

カリキュラム詳細 (1ヶ月目)

【1ヶ月目】 初日～2日目の集合研修でチームビルディングスキルの基礎をインストール。その後3ヶ月続くAirCampusでの議論の深掘りと活性化を狙い、ディスカッショングループの単位を研修チーム(4～6名)として学びを深める。

	1週目	2週目	3週目	4週目
リアル講義	<p>【1日目】</p> <p>カリキュラム説明、マインドセット 基礎講座 研修チーム分けとTODO説明 Activity：ブラインドスクエアと振り返り 研修チームの現状分析 (TB診断実施) 研修チームを成長させるための議論</p> <p>【2日目】</p> <p>研修チームの発表・計画作成 自組織で実施することの計画作成</p>	<p>集合研修のゴール</p> <p>これからの取り組みが理解ができる チームビルディングへのマインドセット チームビルディングの原理原則を理解している 研修チームの成長方法をチームで確認できている 研修チームでのチームビルディングが進み本気度を作り出せている 研修チームでの体験から、自組織の課題と行動計画を立てている</p>		
映像+ディスカッション	映像：チームビルディングスキル (基礎編) 5H			
Skypeセッション		研修チームの目的・目標の振り返り 研修チームの現在地 行動計画のアップデート (個人としてチームとして何に取り組むか)	<p>「チーム意識」「安全な場」の実践結果と気づき/自組織でのアクションプラン実行/研修チームメンバーでの相互支援</p> <p>Skypeセッションのゴール 実施結果の研修チーム内での共有 自分の実施内容に関する不足点・改善点の気付き 次の行動計画の修正追加</p>	

カリキュラム詳細（2～3ヶ月目）

【2ヶ月目】 自組織での取り組みを共有しながら、研修チームでのチームビルディング状態を振り返り、チーム成長を促す要因と阻害要因を言語化しながら最終プレゼンテーションに向けた準備を行う。集合研修後は、チーム別の暗黙知を受講クラス全体の集合知に展開するためにディスカッショングループの単位を研修チームからクラス全体へ横展開し、集合知と個人の気づきを深耕する。

	1週目	2週目	3週目	4週目
リアル講義		研修チームでのアクションへの振り返り 達成状況の評価と原因分析 自組織でのアクションの振り返り 達成状況の評価と原因分析 実践結果発表 チーム毎 研修チームでのチームビルディング診断 アクションプラン策定 自組織/研修 チーム 最終プレゼン内容説明	集合研修のゴール 中間振り返りを促進する チーム内の達成状況の評価 チーム間での評価の比較とチーム間の差は何によって生まれているのかへの気付き 自己変容に対して本気度への気付き 未達成内容の確認と実行計画策定	
映像 + ディスカッション	チームビルディングスキル：（基礎編言語定義）5H 映像を視聴し、自組織（自身）の言葉で語ることで定着を図る 自組織でのアクションプランの振り返り：規則性、法則性、気づき、本質の見える化を促す			
Skypeセッション		ディスカッションのポイント これまでの【研修チーム】単位だったディスカッションを【クラス】単位に拡大し、チーム毎の暗黙知をクラスへの集合知に展開する	クラス全体への展開	最終発表に向けた準備 ・自己分析・チーム分析の実施 ・個々に求められる行動(Do)とありかた(Be)は何か ・研修チーム、自組織での実施した内容を元にチームが成長し、成果を出すために重要なことは何だったか ・自組織でできたこと、できなかった事、現時点で見えた阻害要因
		Skypeセッションのゴール 実施活動の停止と振り返り内容の確認 洞察力を鍛える（現実の言語化・本質課題への深堀）		

【3ヶ月目】 3ヶ月間の取り組みを総括し、自身の変容とともに自組織でのチームビルディングへの取り組みを宣言する。

	1週目	2週目	3週目	4週目
リアル講義				プレゼンテーション チーム毎 【プレゼン内容】 ・個々に求められるDoとBeは何か ・研修チーム、自組織でチームが成長し、成果を出すために重要なことは何だったか ・自組織でできたこと、できなかった事、現時点で見えた阻害要因 ・自組織を次の1段階レベルアップするにはその阻害要因をどう変えるのか 今後の取り組みについて
映像 + ディスカッション	チームビルディングスキル（応用編）：5H 以下をクラス全体で共有しディスカッションする 自身に求められるBeとDoとは何か（言語化） 自分のBeを体現するチームでの相互支援とは何か			
Skypeセッション		ディスカッション プレゼン内容に関する 個人の振り返り チームの振り返り		
	集合研修のゴール 研修全体の振り返りの共有 チームビルディング本質への気付き PDCAを回してみてもの気づきと言語化及び自信の獲得	集合研修のポイント 研修チームメンバー全員の取り組みを総括し、再現性を高めるとともに、更に効果的にするための要素を深掘る プログラムを通じて自分自身が変化したことを言語化する 自組織でできたこと/できなかったことを振り返り、後者の阻害要因を明らかにする プログラム終了後のアクションを自らの言葉で宣言する		

講師紹介



アクションラーニングソリューションズ

代表取締役 齊藤秀樹

一般社団法人日本チームビルディング協会代表理事
富士通、SIベンダー等において人材開発部門責任者、事業会社の経営企画部門、KPMGコンサルティングの人事コンサルタントを経て、人材組織開発コンサルタントとして独立。ジョージワシントン大学大学院人材開発学部マイケルJ・マーコード教授より直接、アクションラーニングコーチ養成プログラムを受け、GIALジャパン設立（現：NPO法人日本アクションラーニング協会）に参加、ディレクター就任。その後、株式会社アクションラーニングソリューションズ設立、代表取締役に就任。また中小から大手企業・外資系企業のコンサルティングで実証された組織開発の有効性を広く一般に広めるために一般社団法人日本チームビルディング協会（JTBA）設立、代表理事に就任。

募集概要

第1期受講期間	2019年3月1日（金）～ 2019年5月31日（金）	募集定員	35名 （最少催行人数：20名）
受講料	1名様単独受講、200,000円（税抜） 2名様同時受講、380,000円（税抜） 3名様同時受講、540,000円（税抜） 4名様同時受講、640,000円（税抜） 同部署・プロジェクトからの同時受講推奨	特記事項	・受講料には1回目集合研修宿泊費用が含まれます ・同部署・プロジェクトからのご派遣上限は4名となります ・研修終了後フォローアップオプション有（別途）
集合研修日程	第一回集合研修：2019年3月1日（金）～3月2日（土） 第二回集合研修：2019年4月13日（土） 第三回集合研修：2019年5月25日（土） 集合研修の日程は変更になる場合がございます。 研修会場（東京付近を予定）までの交通費は含まれておりません。 第一回集合研修時の宿泊費（夕食・朝食付）は受講料に含まれています。 宿泊は2名1室のツインルームまたは3名1室のトリプルルームで同受講生との相部屋となります。		
受講対象者	・同組織で成果を出すことが求められているリーダー及びメンバーの方（同時受講推奨） ・理論だけではなく、実践的なスキルを身につけたい方		
受講環境	・ブロードバンド環境に接続可能なパソコン（Windows/MacOS） ・オンライン会議システム（スカイプ等） ・遠隔教育ソフト“AirCampus”での映像講義、サイバーディスカッション		

質問・お問い合わせ

株式会社ビジネス・ブレイクスルー

リーダーシップ・アクションプログラム事務局

電話：0120-910-072（月～金 9：30～18：00）

メール：leader-ikusei@ohmae.ac.jp

Web：<https://leadership.ohmae.ac.jp/>